



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月27日

上場会社名 住友理工株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5191 URL <http://www.sumitomoriko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 義明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 有賀 雄一 TEL 0568-77-2121  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	193,200	10.7	3,471	△25.6	2,685	△18.4	356	△74.9
26年3月期第2四半期	174,501	31.4	4,666	△7.3	3,291	△33.1	1,417	△49.6

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 4,730百万円（△19.8%） 26年3月期第2四半期 5,895百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.43	-
26年3月期第2四半期	13.65	-

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	377,327	191,680	46.2	1,680.50
26年3月期	383,005	189,007	45.0	1,659.15

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 174,443百万円 26年3月期 172,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	8.00	-	9.00	17.00
27年3月期	-	9.00	-	-	-
27年3月期（予想）	-	-	-	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	5.7	12,000	△11.6	10,000	△9.4	3,000	△26.4	28.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	104,042,806株	26年3月期	104,042,806株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	238,364株	26年3月期	237,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	103,804,980株	26年3月期2Q	103,807,319株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は平成26年10月1日に会社名を「東海ゴム工業(株)」から「住友理工(株)」に変更しております。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(所在地別セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米州では雇用改善や量的緩和政策による個人消費の回復が続く米国で景気拡大が緩やかに継続した一方、南米では経済活動の低迷、成長見通しも低下傾向となりました。債務危機長期化による景気低迷からの脱却が課題だった欧州では、依然として景気浮揚のきっかけを見いだせない状況が続いています。アジアでも、政情不安などによりタイを中心に景気低迷が続いている他、中国の経済成長のペースも減速傾向を強めています。

国内経済につきましては、政府・日銀による金融緩和政策により円安・株価上昇が進み、全体として回復基調にあったものの、今年4月の消費増税などにより、企業生産や個人消費の鈍化がみられるなど、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境は、主要取引先である自動車業界において、米国での需要が底堅く推移したものの、南米における生産台数の大幅な減少、中国における日系自動車メーカーの伸び鈍化、国内市場での消費増税前の駆け込み需要による反動減など、非常に厳しい環境が続いております。

このような状況下で、当社グループは、昨年までに買収、子会社化した会社を含め、グローバルでの開発・生産・販売網を拡充するとともに、原材料調達や生産体制の見直しなどのコスト削減活動「Global Cost Innovation」(GCI)の継続的な実施など、収益力の高い経営体質の構築に注力いたしました。

以上の結果、昨年子会社化した一部の会社の業績を前年第2四半期より連結していることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、193,200百万円(前年同期比10.7%増)となりました。営業利益はのれん償却費増加などにより3,471百万円(前年同期比25.6%減)、四半期純利益は356百万円(前年同期比74.9%減)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <自動車用品部門>

国内市場において、自動車生産台数は横ばいであったものの、海外市場において、北米で販売が好調であったこと、昨年子会社化した一部の会社の業績を前年第2四半期より連結していることから、セグメント間消去前の売上高は165,840百万円(前年同期比13.3%増)と前期を上回りました。しかしながら、海外買収会社ののれん償却費の負担増加、南米の経済活動鈍化などにより、営業利益は2,434百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

#### <一般産業用品部門>

プリンター向け機能部品など事務機器向け精密部部分野は、国内を中心に高機能品の需要が伸び悩み、前年同期の実績を下回りました。建設・土木機械向け高圧ホースにつきましても、中国市場他のインフラ需要が低迷するなどのマイナス材料が収益を圧迫しました。

その結果、セグメント間消去前の売上高は32,948百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は1,037百万円(前年同期比42.9%減)となりました。

### (2) 連結業績予想に関する定性的情報

日本、欧州、南米他、全世界での景気低迷の状況が下期も続き、回復が遅れると見込まれるため、平成27年3月期の通期業績予想を以下の通り修正致します。

平成27年3月期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	400,000	16,000	14,000	5,000	48.17
今回予想修正(B)	390,000	12,000	10,000	3,000	28.90
増減額(B-A)	△10,000	△4,000	△4,000	△2,000	—
増減率(%)	△2.5	△25.0	△28.6	△40.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	369,093	13,577	11,041	4,076	39.27

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、㈱TRI京都、他3社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。その結果、前連結会計年度に75社であった連結子会社数は79社となっております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結累計期間より、常州住電東海今創特殊橡膠有限公司は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。その結果、前連結会計年度に5社であった持分法適用関連会社数は6社となっております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,083	30,093
受取手形及び売掛金	80,866	84,256
商品及び製品	10,801	11,634
仕掛品	9,931	10,624
原材料及び貯蔵品	17,125	17,209
未収入金	7,581	7,077
繰延税金資産	4,076	4,282
その他	8,736	7,139
貸倒引当金	△1,037	△673
流動資産合計	179,162	171,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	99,225	101,816
減価償却累計額	△49,804	△51,010
建物及び構築物 (純額)	49,421	50,806
機械装置及び運搬具	221,707	228,853
減価償却累計額	△163,448	△168,911
機械装置及び運搬具 (純額)	58,259	59,942
工具、器具及び備品	61,994	64,526
減価償却累計額	△50,357	△52,242
工具、器具及び備品 (純額)	11,637	12,284
土地	15,044	15,223
リース資産	2,982	2,527
減価償却累計額	△921	△894
リース資産 (純額)	2,061	1,633
建設仮勘定	8,119	11,045
有形固定資産合計	144,541	150,933
無形固定資産		
のれん	20,319	18,393
その他	14,007	13,957
無形固定資産合計	34,326	32,350
投資その他の資産		
投資有価証券	13,803	9,891
退職給付に係る資産	7,817	7,861
繰延税金資産	2,013	2,869
その他	1,385	1,835
貸倒引当金	△42	△53
投資その他の資産合計	24,976	22,403
固定資産合計	203,843	205,686
資産合計	383,005	377,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,245	54,334
短期借入金	24,559	13,396
未払金	15,630	16,138
未払法人税等	3,310	2,267
引当金	1,585	3,824
その他	10,142	11,301
流動負債合計	108,471	101,260
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	30,444	30,413
引当金	2,086	1,997
退職給付に係る負債	6,943	6,874
繰延税金負債	10,315	9,483
その他	739	620
固定負債合計	85,527	84,387
負債合計	193,998	185,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,145	12,145
資本剰余金	10,867	10,867
利益剰余金	139,852	139,050
自己株式	△297	△298
株主資本合計	162,567	161,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,369	994
繰延ヘッジ損益	72	24
為替換算調整勘定	6,644	10,979
退職給付に係る調整累計額	578	682
その他の包括利益累計額合計	9,663	12,679
少数株主持分	16,777	17,237
純資産合計	189,007	191,680
負債純資産合計	383,005	377,327

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	174,501	193,200
売上原価	147,861	163,923
売上総利益	26,640	29,277
販売費及び一般管理費	21,974	25,806
営業利益	4,666	3,471
営業外収益		
受取利息	179	134
受取配当金	74	163
持分法による投資利益	246	110
その他	733	524
営業外収益合計	1,232	931
営業外費用		
支払利息	1,262	1,010
減損損失	28	1
為替差損	479	39
固定資産廃棄損	84	104
その他	754	563
営業外費用合計	2,607	1,717
経常利益	3,291	2,685
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,167
段階取得に係る差益	1,016	—
退職給付信託返還に伴う数理差異償却	1,488	—
特別利益合計	2,504	3,167
特別損失		
事業構造改善費用	—	2,330
その他	—	162
特別損失合計	—	2,492
税金等調整前四半期純利益	5,795	3,360
法人税、住民税及び事業税	3,222	3,558
法人税等調整額	236	△1,242
法人税等合計	3,458	2,316
少数株主損益調整前四半期純利益	2,337	1,044
少数株主利益	920	688
四半期純利益	1,417	356



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,337	1,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	△1,357
繰延ヘッジ損益	222	△48
為替換算調整勘定	2,773	4,958
退職給付に係る調整額	△96	106
持分法適用会社に対する持分相当額	234	27
その他の包括利益合計	3,558	3,686
四半期包括利益	5,895	4,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,019	3,334
少数株主に係る四半期包括利益	876	1,396

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,795	3,360
減価償却費	9,406	11,597
のれん償却額	790	1,066
減損損失	28	1
固定資産廃棄損	84	104
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,167
段階取得に係る差損益(△は益)	△1,016	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	68	43
引当金の増減額(△は減少)	△42	1,901
受取利息及び受取配当金	△253	△298
持分法による投資損益(△は益)	△246	△110
支払利息	1,262	1,010
売上債権の増減額(△は増加)	△1,443	△2,157
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,975	△1,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△106	689
その他	△1,699	1,555
小計	10,653	14,586
利息及び配当金の受取額	420	341
利息の支払額	△1,082	△1,008
法人税等の支払額	△2,371	△4,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,620	9,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,155	△14,767
有形固定資産の売却による収入	257	659
投資有価証券の取得による支出	△1,450	△7
投資有価証券の売却による収入	—	4,224
短期貸付金の純増減額(△は増加)	1	1,997
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△16,428	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	593	—
買収に伴う債権買取による支出	△1,533	—
その他	563	708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,152	△7,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	674	△8,966
長期借入れによる収入	29,125	935
長期借入金の返済による支出	△1,596	△3,115
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△831	△935
少数株主への配当金の支払額	△1,635	△1,007
その他	△177	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,560	△13,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,093	1,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,879	△9,513
現金及び現金同等物の期首残高	58,005	39,479
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	127
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,126	30,093

(注) 当第2四半期連結累計期間の減価償却費は、企業結合会計に伴う取得原価の配分によって算定された無形固定資産等の減価償却費708百万円を含んでおります。

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用品	一般産業用品	計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	146,340	28,161	174,501
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	89	5,345	5,434
計	146,429	33,506	179,935
セグメント利益	2,851	1,815	4,666

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,666
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	4,666

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用品	一般産業用品	計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	165,751	27,449	193,200
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	89	5,499	5,588
計	165,840	32,948	198,788
セグメント利益	2,434	1,037	3,471

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,471
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	3,471

## 4. 補足情報

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	欧州その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	79,138	39,891	36,098	19,374	174,501	—	174,501
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,216	258	8,131	309	20,914	△20,914	—
計	91,354	40,149	44,229	19,683	195,415	△20,914	174,501
営業利益又は営業損失(△)	585	2,784	3,846	△1,773	5,442	△776	4,666

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	欧州その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	76,066	44,104	43,566	29,464	193,200	—	193,200
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,162	265	9,062	592	23,081	△23,081	—
計	89,228	44,369	52,628	30,056	216,281	△23,081	193,200
営業利益又は営業損失(△)	△77	2,126	4,454	△1,257	5,246	△1,775	3,471

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 米 州…米国、ブラジル  
 ア ジ ア…中国、タイ、インド、インドネシア  
 欧州その他…ドイツ、イタリア、ポーランド  
 3 すべての営業費用を各セグメントに配賦しております。